

歴史を学ぶ講座

新・八幡の歴史 9回目

八幡宮遷座以前の八幡ということで出口修さんが話されたことの主要のことは「^{なら}那羅郷」です。久世郡^{なら}那羅郷は今の上奈良・下奈良に当たるようで、相当な歴史がある。古くは『日本書紀』欽明天皇(第29代)26年夏に「奈羅(なら)」の地名が出ている。上奈良にある御園神社創立は江戸時代(1615年)の「御園神社縁起」によれば桓武天皇(787年長岡京の時)が交野に行幸の際この地に立ち寄ったことから始まる。それ以前より野菜栽培をして朝廷に献上し、朝廷からは供物を贈られる特別な神社に。

収穫の感謝と五穀豊穡を祈って、この御園神社で毎年10月に行われているずいき神輿・・・神輿の屋根をスイキで、他にトウガラシやナスなど、その年に収穫した約30種類の野菜で飾りつけられる(市のホームページより)、それは古くからこの地が京都近郊の供御野菜供給地であったという事情を示しているのかなと推測する。2018年は台風等で神輿が出来なかったようだ。

- ① 日時 2019年1月25日(金) 13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

新・八幡の歴9回目です。新しくスタートしています。前のお話と違う部分も話されるそうです。



(ずいき神輿 ネットより)

八幡まるごと館 / 八幡市男山松里12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土日午後です。